

HARIMA SHIP YARD



CATALOGUE No. A.



HARIMA SHIP YARD

CATALOG -A

SHIPBUILDING DEPARTMENT,
KOBE STEEL WORKS LTD.

March 1928.

目 次

營 業 課 目	
本社、各工場、出張所及代理店一覽	
工 場 所 在 地 附 近 地 圖	
工 場 平 面 圖	
工 場 沿 革	1頁
位 置	1
組 織 及 設 備	1
事 業 ノ 成 績	5
1. 新 造 船	5
A 艦 艇	5
B 貨 物 船	6
C 油 槽 船	7
D 漁 撈 船	8
E 客 船	10
F デ イ ー ゼ ル 船	11
G 碎 氷 船	11
H 冷 凍 船 及 冷 藏 運 搬 船	11
I 救 助 船	12
J 雜 種 船	12
K 浚 渫 船 及 土 運 船	14
2. 修 繕 船	15
3. 起 重 機	15
4. 水 壓 鐵 管	19
5. 油 槽 及 瓦 斯 槽	19
6. 橋 梁 及 鐵 骨 建 築	20
7. チ ュ ー ブ ミ ル、 ロータリークレーン類	21
8. ダ ー ル 式 重 油 燃 燒 装 置	22
9. キ ッ チ エ ン ス 舵 装 置	22
10. 雜 工 事	22
11. 救 助 作 業	23
12. 南 洋 木 材 販 賣	23
13. 其 他	23
寫 眞	

株式會社 神戶製鋼所播磨造船工場

兵庫縣赤穂郡相生町

電話相生 { 一四番番
二五六番番
一五六番番

營業課目

資本金貳千萬圓

艦客貨物	艇船	曳小	船型	船
イ	船	巡	運	船
一	船	雜	種	船
ゼ	船			
ル	船			
水	船		以上新造及修繕工事	
撈	船		ダール式重油燃燒裝置	
凍	船		キツチエンス舵裝置	
運	船		海陸用汽機汽罐	
槽	船		起重機	
助	船		水壓鐵管	
漕	船		橋梁、鐵骨建築	
式	船		油槽、瓦斯槽	
式	船		キルン・ミル	
式	船		諸卿筒揚貨機類	
式	船		南洋木	
式	船			

營業所

株式會社 神戶製鋼所造船部

神戸市脇濱町一丁目三十一番地
電話代表番號持長葺合一〇一番・御影一九六番

本 社

株式會社 神 戶 製 鋼 所

神 戶 市 脇 濱 町 一 丁 目 三 一 番 地
電 話 代 表 番 號 葦 合 一 〇 一 番
御 影 一 九 六 番

各 工 場

株式會社 神 戶 製 鋼 所 播 磨 造 船 工 場

兵 庫 縣 赤 穂 郡 相 生 町
電 話 相 生 一 四 一 五 一 六 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 鳥 羽 電 機 工 場

三 重 縣 志 摩 郡 鳥 羽 町
電 話 鳥 羽 長 九 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 門 司 伸 銅 工 場

門 司 市 小 森 江
電 話 長 門 司 八 六 五 番

出張所並に代理店

株式會社 神 戶 製 鋼 所 東 京 出 張 所

東 京 市 麴 町 區 永 樂 町 一 丁 目 一 番 地
東 京 海 上 ビル デ ン グ 六 階 第 六 〇 八 號
電 話 丸 ノ 内 長 七 九 二 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 大 阪 出 張 所

大 阪 市 西 區 江 戶 堀 南 通 り 四 丁 目
電 話 土 佐 堀 一 五 九 三 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 橫 須 賀 出 張 所

橫 須 賀 市 汐 入 四 番 地
電 話 長 六 八 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 吳 出 張 所

吳 市 岩 方 通 り 三 丁 目 一 二 番 地
電 話 長 七 七 九 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 名 古 屋 出 張 所

名 古 屋 市 東 區 小 市 場 町 四 丁 目 一 九
電 話 東 二 四 一 七 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 大 連 出 張 所

大 連 市 山 縣 通 五 三
山 形 第 一 ビル デ イ ン グ 内

株式會社 神 戶 製 鋼 所 奉 天 出 張 所

奉 天 住 吉 町 八 番 地

株式會社 神 戶 製 鋼 所 佐 世 保 代 理 店

佐 世 保 市 常 盤 町 青 木 榮 藏 商 店 内
電 話 佐 世 保 長 五 四 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 長 崎 代 理 店

長 崎 市 本 興 善 町 三 〇 内
長 方 亭 一 商 店 内
電 話 長 一 八 八 七 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 臺 北 代 理 店

臺 灣 臺 北 市 表 町 二 丁 目
臺 北 カ ネ タ ツ 株 式 會 社

株式會社 神 戶 製 鋼 所 臺 南 代 理 店

臺 灣 臺 南 市 花 園 町 二 丁 目
臺 南 カ ネ タ ツ 株 式 會 社

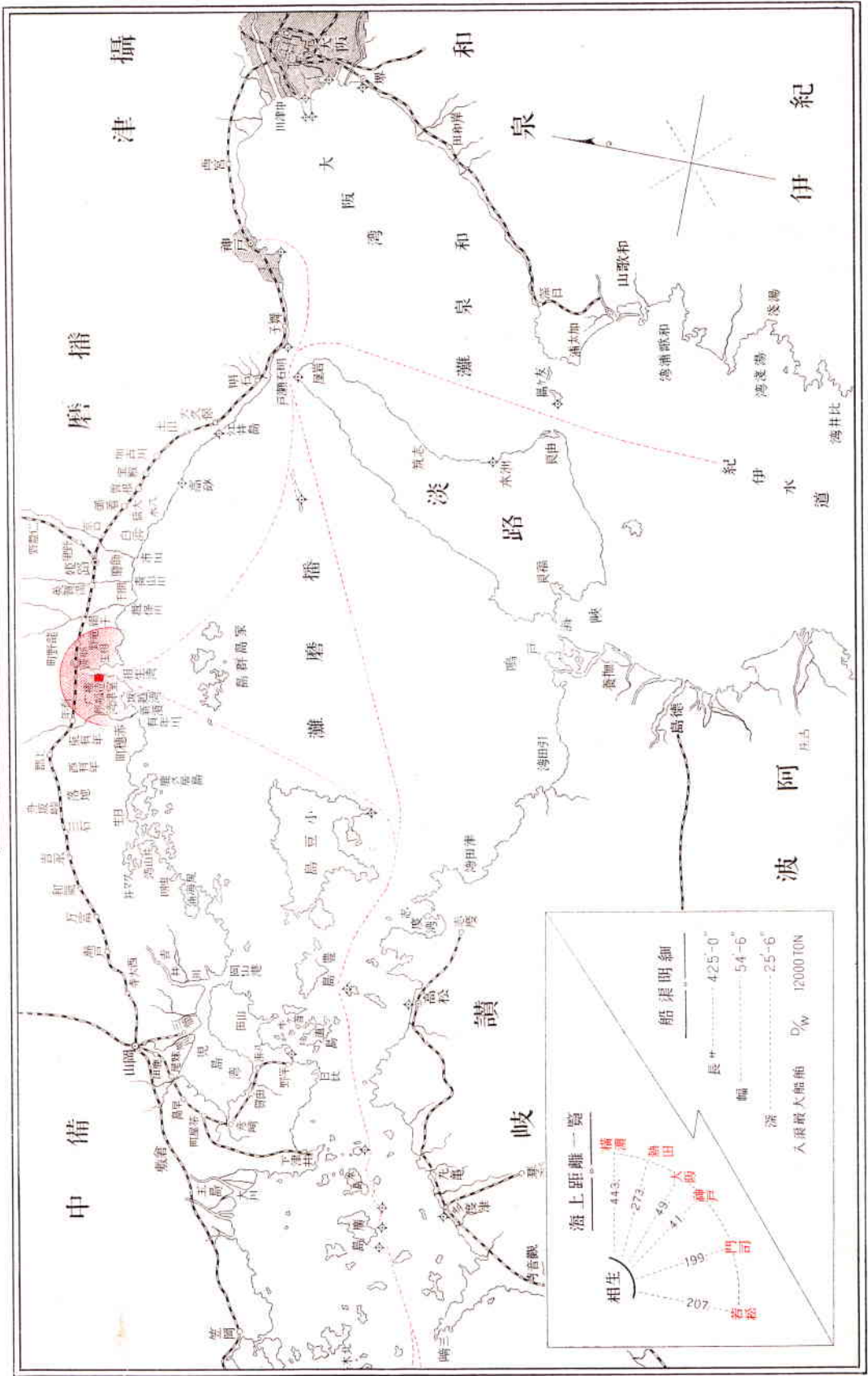
株式會社 神 戶 製 鋼 所 舞 鶴 代 理 店

京 都 府 新 舞 鶴 町 字 濱 山 内 榮 次 商 店
電 話 長 一 〇 三 番

株式會社 神 戶 製 鋼 所 京 城 代 理 店

京 城 府 南 大 門 通 二 丁 目 五 番 地 ノ 二
野 附 商 工 社

株式會社 播磨造船工場
神戸製鋼所



播磨造船工場營業案内

(1) 工場沿革

當工場の起元は明治四十一年三月拂込資本金貳拾七萬五千圓を以て創立せられたる播磨船渠株式會社なるものに濫觴せり當時其の目的とする處一箇の乾船渠を鑿堀して船舶の修繕業を營むにありしも功成るに至らずして解散し播磨船渠合名會社これを繼承せり。四十五年一月船渠の架構漸く竣り事業を開始したりしも成績見るべからずして大正元年七月遂に播磨造船株式會社を創立し事業を之れに譲渡せり。然るに規模狭小にして依然として事業の振興を見る能はず大正五年三月に至り現在の資本系統に移るや商號を株式會社播磨造船所と改稱し内部の根本的改造と共に大型船の建造を計畫し工場、設備俱に一大擴張を斷行して事業の面目亦茲に一新せり。爾來時運の隆盛は業務に一段の發展を促せしが大正七年五月姉妹工場たる株式會社鳥羽造船所と共に同系事業に屬する帝國汽船株式會社に合併せしが十年二月再轉して茲に株式會社神戸製鋼所の合併する處となり、目下同所の播磨造船工場として、諸般施設の完備に努めしが昭和二年七月鳥羽造船工場造船竝に起重機の事業を全部舉げて當工場に移したるを以て内容、設備益々充實し將來一層の進展を期するの狀勢にあり。今や工場及構外所有地を合せ拾參萬坪を算し構内使用の鐵路のみを以てするも其の延長約五哩に達するの現況にして之れを當初工場敷地僅かに四千七百坪職工百を以て數ふるに過ぎざりしものに比較せば事業の發展工場の隆昌亦實に隔世の感なくばあらざるなり。

(2) 位置

工場は兵庫縣赤穂郡相生町に在り。山陽線那波驛を南するこま僅かに二十丁にして彼の赤穂義士の發祥地たる赤穂町を東北に距るこま三里、地は灣入里餘なる相生港を扼する半島の一角を占めたり。即ち相生港西岸字甲崎を起點とし藤戸、鷺が巢等の地域に涉りて場内海岸線の延長實に九百三十八間に餘り對岸網の浦には材料置場荷揚場及船員宿舍を有す。其の間に挟む處の海灣水深くして潮流亦緩やかに風波騒がず風光頗る明媚造船地として蓋し恰可の地たるを失はず。

(3) 工場の組織と設備

工場の作業系統を七種に概括す即ち總務課、造船課、造機課、造船設計課、造機設計課、電氣課、起重機課是なり。總務課は工場諸般の事務會計及び營業の事を掌り兼ねて材料の處理、醫療、教育の事をも總べ、造船課、造機課は新造船船殻の新造及艤裝機關の建造並に修繕工事の作業を總べ、造船、造機設計課は其の計畫に任じ、電氣課は電氣熔接及電氣に關する一般作業及動力管理に任じ、起重機課は各種起重機の製作を掌る今工場の設備の一斑を摘録するに概略下の如し。

營業に關する業務は特に神戸本社に在りて執務す。

○ 船 臺

最大建造船舶 重量噸數 壹萬壹千噸

長

幅

第 壹 號 船 臺

五 三 〇 呎

七 〇 呎

Harima

第 貳 號 船 臺	五 三 〇 呎	七 〇 呎
第 參 號 船 臺	五 三 〇 呎	七 〇 呎
第 四 號 船 臺	五 三 〇 呎	七 〇 呎

○ 船 渠

第 一 號	最大入渠船舶 重量噸數		壹萬貳千噸
	長	幅	
上 部	四百三十三呎	五十七呎九吋	渠底より 二十 七 呎
下 部	四百二十五呎	五十四呎六吋	盤木上より二十五呎六吋
第 二 號			

○ 發 電 所

發電所は之れを機械室と汽罐室とに分ち主要機關として千五百馬力「パーソンズステイムタービン」交流壹千「キロワット」發電機各壹臺、四百五十馬力直立式三聯成汽機交流貳百「キロワット」發電機各壹臺、直流參百「キロワット」發電機壹臺「バゴツクエンドウキルコツクス」水管式汽罐參罐其の他を備ふ。

○ 變 電 所

中央變電所より場内への配電は高低合せて五回線にして高壓線は何れも三相交流なり其の内工場動力用の三回線は空氣壓搾機、水壓唧筒用高壓電動機十二臺と別に場内二箇所に設くる變電所を経て總計九十九臺の低壓電動機に配電し他の二回線は柱上變壓器を通じて工場内外約四千燈の電燈用とす五百五十「ボルト」直流の二回線は起重機用電動機四十臺に配電す。

○ 電 氣 工 場

電氣工場は新造船及び修繕船等の無線電信其他一般電氣機裝工事及び修繕工事を行ひ又各工場内に於ける一般電氣機械器具の修理を行ふ。相隣れる鍍金場は各種電氣鍍金及びラヂオ等の蓄電池充電に當てらる。工場内には五〇「キロワット」電動發電機以下數臺の電氣機械及び試験用配電盤を備へ電氣機械の試験に備ふ。

○ 電 氣 銲 接 工 場

第一及第二電氣銲接工場は五〇「キロワット」直流銲接機二臺、八「キロワット」交流銲接器一臺を設備し新造船修繕船及び「セメント」製造用「チューブミルキルン」等の電氣銲接工事を行ふ。

○ 空 氣 壓 搾 機 及 水 壓 機

造船用空氣壓搾機室には三臺の空氣壓搾機を備へ別に造機製罐工場に設備の二臺を合せて五臺總計毎分五千立方呎の大氣吸入、壓力百封度の壓搾空氣を出し、造船空氣壓搾機室に水壓唧筒及水重式蓄壓機各貳臺を備へ製罐工場には別に各壹臺を設く、共に使用壓力千五百封度とす。(空壓管延長 七、五〇〇呎 水壓管延長 一、〇〇〇呎)

○ 起 重 機

場内設備の起重機類を舉ぐれば六拾噸「ワーフクレーン」壹臺、參拾噸「シャールツグ」壹臺、貳拾五噸「フローチングクレーン」壹艘「トラベリングタワークレーン」三噸一六噸のもの貳臺一噸半一三噸のもの三臺電動梁上起重機二十五噸以下合計九臺五噸「蒸汽ロコモチブクレーン」二臺、三噸「電氣ロコモチブクレーン」一臺、其他五噸汽動電動卷揚機數十臺を備へて各種重量物の運搬、積込、移動を爲し、船臺に設備の卷

揚機は修理船改造船の引揚作業を爲す。

○ 現 圖 工 場

本工場は長さ二七〇呎幅七〇呎にして階上は之れを「モールドロフト」に充て船體線圖其の他の實形描出並に型取作業に従事し階下は木材木取工場として十馬力「サーキュレーター」及「ホリゾントドリル」等を設備し進水臺、木甲板、ブーム端艇其他一般造船用材の製作作業場とす。

○ 造 船 機 械 工 場

本工場には「ボンチング」及「シャリングマシン」八臺、「カウンターサンクドリリングマシン」七臺、「エツヂプレーニングマシン」貳臺、「ベンディングローラー」貳臺、「ビームベンダー」貳臺、「マンホールボンチ」附水壓「ジヨツグリングマシン」貳臺、「キールベンダー」壹臺、「ストレートニングローラー」壹臺、其他「スクアーフィングマシン、ラディアルドリル」及「アツプライトドリル」「ブリクシオンソー」「ロータリーシャー」「ウォールジブクレン」「コールドメタルソー」等合計四拾餘臺を備へ専ら船殼鋼材の加工に従事し梁上には五噸電動起重機四臺を設けて場内運搬の用に充つ。

○ ファーネス 及 撓 鐵 工 場

「アングルファーネス」(長さ七〇呎一臺及三〇呎一臺)及「プレートファーネス」(長さ四五呎)「アングル」及「プレートファーネス」(長さ三〇呎)一臺、「ポータブルハイドロリックプレス」一臺、「ハンドピラークレーン」(一噸)三臺「ベンディングスラブ」七〇〇〇平方呎を設け専ら鋼材撓曲及船體艤装品の製作の作業を行ふ。

○ 亜 鉛 鍍 金 工 場

大小四個の亜鉛釜及二個の鹽酸「タンク」を設備し各種鋼材の亜鉛鍍金及鹽酸ミガキを爲す。

○ 造 機 工 場

本工場は旋盤仕上工場器具工場を包括し各種「レース」四拾五臺、「プレーニング」及「シエーピングマシン」十臺、「スロツチングマシン」參臺、各種「ドリリングマシン」拾餘臺其他各種「ミーリングマシーン」「ホリゾントボーリングマシン」「ギヤーホツピングマシーン」「スクリエイングマシン」「ボルトカッター」等凡て工作用機械八拾餘臺を備へ電動梁上起重機は拾噸のもの壹臺「ジブクレーン」は一噸のもの四臺設けたり。

○ 製 罐 工 場

本工場には二十五噸梁上電動起重機壹臺、五噸三噸及一噸の水壓又は手働式の臂形起重機合せて七臺、二十呎罐板燒鈍爐壹基「ベンディングローラー」貳臺、四百噸水壓機二百噸「フランディングプレス」各壹臺、「ハイドロリックホリゾントルポンプ」貳臺、百六拾噸以下水壓鉸鉸機四臺、二十噸「アングルカッター」壹臺各種「ドリリングマシン」七臺、「ボンチングエンドシャリングマシン、エツヂプレーナー、ロータリーシャー」各壹臺、其他水壓原働機、水重式蓄壓機、空氣壓搾機、電動機各種「ポンプ」等の必要機械數臺を備へ船用汽罐陸用汽罐「セメント川キルン」等の製作に従事す。

○ 木 型 工 場

本工場には木工「レース」「サーキュレーター」「バンドソー」「グラインドストーン」其他合せて六臺を備へ木型製作を主要工事とす。

○ 鑄 物 工 場

本工場は各種鑄造品を製作す、設くる所の電動梁上起重機は拾噸のもの貳臺にして、「キューボラファーネ

Harima

ス」五噸以下四基、「クーシブルファーネス」八基、二十五馬力「ルートブロー」二基、乾燥爐二基、「ランドミル」二基、其の他の設備ありて船用機關及「デイズル」機等の主要部用高級鑄物の製作に適す。

○ 原 動 機 室

本室は鍊鐵工場附屬のものにて6'-4" × 23'-0"の「ランカシャー」汽罐を二基を備へ（燃料は専ら鋸屑使用）發生せる蒸汽は主として鍊鐵工場の（スチムハンマー）の原動力に使用、剩餘は職工茶焚場、食堂等に送る装置を爲す。（蒸汽管延長三千呎）

○ 鍊 鐵 工 場

本工場には汽鍊壺噸半以下五基を有し、臂形起重機五基、各種爐數合計十一爐及送風機二基を備へ鍛造作業に従事す。

○ 製 材 工 場

南洋原産地及米國等より輸入されたる大量の木材は本工場設備五呎「バンドソー」二基、二十吋「フレムソー」二基、二十八吋「サーキュラーソー」二基及其他的製材機械七基により挽割され廣く市場に賣り出され又は當工場の新造船其他に使用さる。

○ 木 材 乾 燥 場

本工場にては4'-0" × 12'-0"の汽罐を使用して原木及挽割せる木材を蒸汽式乾燥を爲す。

○ 木 工 場

本工場には參拾馬力「サーキュラーソー」「バンドソー」「レース」「ダブルスピンドルシェーパー」「ジョイナープレーナー」「オートマチックフイドプレーナー」「モルテイスマシン」「バーチカルドリル」「テフニングマシン」等合計十四基を備へ一般木工の作業に従事し階上は各種和洋家具の製作を爲す。

○ 材 料 試 験 室

本室には五萬斤及一萬斤の材料試験機を備へ各種總材及船舶用材の強力緊張力の試験を爲す。

○ 起 重 機 工 場

本工場は旋盤仕上工場を包括し各種「レース」九基、各種「ドリリングマシン」五基、「ミーリングマシン」「スロットングマシン」「シェーピングマシン」「ボーリングマシン」「ギヤーホッピングマシン」其他工作機械合せて二十二基を備へ場内に五噸梁上電動起重機を設備す。又工場前「フィールド」には百五十噸起重機試験臺、七噸「ボイスト」試験臺並に電動捲揚二十噸「デツガーポスト」壹基を備へ諸般の試験設備をも完備す。

○ 船 渠 工 場

船渠工場は「セメント」工場及「ペイント」工場をも包括す。船渠用唧筒所内には合計三臺の「セントリフューガルポンプ」及「ウオシントンフイドポンプ」を備へて船渠排水、灌給水其の他の用に充つ船渠の排水能力は一時間約貳千噸す。汽罐室には「ボイラー」壹基を備ふ。水源地唧筒所には揚水用五十噸「タービン」唧筒給水唧筒及汽罐を有し清水供給用に備へ且つ其一端を何時にても防火鐵管に通じ非常時の火災消防用に使用す。（防火管延長二、二〇〇呎）

○ 海 上 設 備

海上設備として小蒸汽船三隻又發動汽船四隻、材料船四隻、臺船、足場船四隻、給水船三隻、油槽船一隻其他舩船二十五隻を有す。海上起重機は起重機の部に記したれば省略す。

上記の外設計製圖場、事務所、諸倉庫、醫藥所、構内郵便局等場内諸建築物總て六十餘棟此の建坪九千餘

坪にして工場諸敷地約四萬貳千坪を算す。

○ 遞信局海事部相生分室

工場近接の地を相して海事部分室を請願し大正十年一月一日開廳爾來検査事務管掌を願ひ以て船主各位の利便に供せり。

○ 播磨病院

従業員及其の家族、各在港船々員諸氏の爲めに大正十一年二月六日より病院を開設し實費を以て施療に従事す。

○ 徒弟養成所

大正七年六月壹日以来優良職工の養成の爲に徒弟養成所を設けたり爾來薰育の効は職工の智識及技能を向上せしめ且つ独自の醇良奉公の氣風を出せしめて成績見るべきものあり。

○ 船員俱樂部

造船工場對岸網浦の景勝の地、俱樂部を建築し以て船員各位の旅舎に充つ。

○ 播磨造船構内郵便局

構内に郵便局を設置し電信電話爲替貯金の事務を取扱ふ。

○ 職工及職員住宅

工場の近接地たる相生町籾谷及那波村那波に職工社宅五五〇戸職員社宅八〇戸を建設し併せて米麥薪炭の實費供給を直營し住宅難の緩和主要日用品價格の調節を計り従業員福祉の一端に資す。

事業の成績

1 新造船

船舶の新造に着手してより昭和參年貳月迄に進水したる船舶は以下列記する所にして其比較的少量なるは過去に於て主力を工場の擴張設備の完成に注ぎしが爲なり而かも表中 S.S. "Mica", S.S. War Amazon", S.S. "Eastern King" S.S. "Eastarn Shore" 及 Eastarn Soldier の如き數艘は歐洲戰亂に際し聯合國側に提供したるもの西播の一角に呱呱の聲を揚げし一新工場にして世界的動亂に際し涓滴の微も雖猶且聯合與國に寄與するを得しは快心の事に屬す而して積年續行せる海面の埋立と共に工場の設備今や殆んど完成し一箇年の建造能力は約拾萬噸なりとす。

A. 艦				艇		重量噸數 排水噸數	總噸數	進水年月日
船番	船種	船名	註文主					
69	砲艦	勢多	海軍省			347.00	—	大正年 月 日 11 4.29
70	同	堅田	同			347.00	—	11. 4.29
75	一等掃海艇	第一掃海艇	同			675.00	—	12. 3. 6

B. 貨物船						
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重 量 噸 數	總 噸 數	進 水 年 月 日
2	貨物船	吉備丸	豊崎昌三郎殿	1801.45	1173.61	大正 年 月 日 5. 5.23
3	同	御崎丸	日本汽船株式會社殿	1793.20	1172.33	5. 7.26
5	同	大圖丸	内田汽船株式會社殿	4426.27	2726.47	6. 6. 5
6	同	扇海丸	扇海汽船株式會社殿	1946.34	1262.02	6. 1.11
7	同	ワーアマゾン	アルフレッド商會殿	4977.00	3164.89	7. 1.12
8	同	マ イ カ	ドツドウエル商會殿	1972.47	1263.79	6. 7. 5
9	同	イースタン シヨア	米 國 政 府 殿	11,033.50	6805.93	7. 8.21
10	同	八重丸	帝國汽船株式會社殿	10,978.75	6780.57	8. 6. 4
11	同	與禰丸	同 殿	10,993.13	6780.00	8. 2. 8
12	同	イースタント バイロツト	米 國 政 府 殿	4,905.75	3229.01	8.11. 1
13	同	イースタンソルジャー	同 殿	10,625.59	6818.21	9. 4. 3
15	同	夕顔丸	帝國汽船株式會社殿	4,954.00	2937.05	8. 4.17
17	同	ロツキー丸	同 殿	10,899.46	6786.01	9. 2.25
18	同	扇洋丸	岩田商店殿	2,010.39	1237.81	7. 3. 3
19	同	松島丸	帝國汽船株式會社殿	2,131.58	1344.90	7. 9.25
29	同	百合丸	同 殿	10,975.76	6787.02	8. 7.24
30	同	春光丸	互光商會殿	10,906.29	6786.01	8.11. 4
31	同	テキサス丸	國際汽船株式會社殿	10,941.75	6786.00	9. 1. 8
33	同	第七與禰丸	米 國 政 府 殿	4,924.00	2962.57	7. 6. 1
34	同	第十和島丸	宇和島汽船株式會社殿	1,950.13	1222.47	7.10. 5
37	同	大東丸	帝國汽船株式會社殿	1,950.32	1230.25	7.12. 3
38	同	生駒丸	同 殿	3,568.00	2013.64	8. 3. 5
39	同	伊吹丸	同 殿	3,561.00	2014.11	8. 6. 3
40	同	第一快運丸	鐵道院殿	1,624.00	1081.00	7. 1.13
41	同	第二快運丸	同 殿	1,620.07	1002.26	7. 2.27
42	同	金浦丸	同 殿	1,665.21	983.21	7. 4.14
43	同	トバ	和蘭ロツテルド グムロイド殿	10,694.65	6782.94	9. 6. 5
44	同	せいぬ丸	帝國汽船株式會社殿	10,676.36	6783.03	9. 7.12
45	同	いぶる丸	同 殿	10,691.06	6783.03	9. 9. 6
49	同	高知丸	同 殿	4,887.92	2918.48	9.10.20
50	同	岩手丸	同 殿	4,899.12	2928.10	9.12. 2
88	同	甲子丸	大日本鹽業株式會社殿	3,788.00	2,195.16	13. 1.29
92	同	明治丸	酒井汽船株式會社殿	3,771.11	2,170.38	13. 2.27

B. 貨物船						
船番	船種	船名	注文主	重量噸數	總噸數	進水年月日
108	同	第三東洋丸	澤山汽船株式會社殿	1,517.00	985.00	大正年 月 日 14. 9. 5
124	同	第三紫筑丸	貝島商業株式會社殿	1,550.00	1000.00	15. 4. 7
133	同	大黒天丸	東北商船株式會社殿	850.00	640.54	昭和年 月 日 2. 5.23
135	同	御船丸	山本佐次郎殿	5,100.00		3. 2.24
137	同	おは丸	北樺太石油株式會社殿	1,500.00		
146	同	紫尾山丸	山一汽船株式會社殿	1,957.00	1245.52	大正年 月 日 6. 9.23
147	同	上宮山丸	同 殿	1,950.00	1257.38	6.12.23
148	同	相島丸	栗林商船株式會社殿	1,996.00	1231.85	7. 4.23
149	同	神島丸	西班牙政府殿	1,996.00	1232.42	7. 5.23
156	同	朝熊丸	帝國汽船株式會社殿	3,562.00	2001.00	7. 8.23
157	同	青ノ峰丸	諾威國政府殿	3,536.89	1979.28	7.11.23
152	同	元永丸	上西汽船株式會社殿	3,414.30	1974.33	8. 2.23
153	同	神路丸	諾威國政府殿	3,441.29	1983.18	8. 6.23
150	同	菅島丸	同 殿	1,898.62	1148.80	8. 8.23
158	同	佐賀丸	太陽汽船株式會社殿	3,650.31	2112.41	8.11.23
151	同	浮島丸	鈴木商店殿	1,908.10	1149.04	9. 3.23
154	同	志摩丸	同 殿	3,398.97	1975.63	9. 3.23
155	同	第一大寶丸	林汽船株式會社殿	3,345.88	1977.46	9. 6.23
159	同	三重丸	日本郵船株式會社殿	4,864.67	2896.55	10.10.23
161	同	岐阜丸	同 殿	4,910.00	2936.00	

C. 油槽船

本船は大型オイルタンカー數隻を本邦に於て率先製造し此れが航海の結果諸外國の該船舶より優秀なりし事實は本社の自信を増したるものなり。

船番	船種	船名	注文主	重量噸數	總噸數	進水年月日
46	油槽船	橘丸	旭石油株式會社殿	8,804.73	6543.43	大正年 月 日 10. 4. 5
47	同	滿珠丸	同 殿	8,790.55	6515.24	10. 7.23

C. 油 槽 船						
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日
48	同	干 珠 丸	同 殿	8.763.79	6515.24	大正年 月 日 11. 2.11
†63	同	寶 鈴 丸	帝國汽船株式會社殿	802.96	658.61	9. 8.11
121	同	し ぶ る 丸	ライジングサン殿 石 油 會 社	—	134.03	15. 6.13
122	油 送 船	野 田 丸	同 殿	—	96.73	15. 5.25
D. 漁 撈 船						
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日
51	トロール	第 三 博 多 丸	博 多 ト ロ ー ル 殿 株 式 會 社	—	265.90	大正年 月 日 9. 9. 3
52	同	第 一 鷺 丸	樺 太 漁 業 株 式 會 社 殿	—	265.90	9.10. 2
53	同	第 五 博 多 丸	博 多 ト ロ ー ル 殿 株 式 會 社	—	265.90	9.10. 3
54	同	第 二 鷺 丸	樺 太 漁 業 株 式 會 社 殿	—	265.90	9.11.18
83	同	第 六 博 多 丸	博 多 ト ロ ー ル 殿 株 式 會 社	—	263.30	11. 8.10
87	漁 船	第 十 七 播 州 丸	林 兼 商 店 殿	—	375.92	12. 6. 6
91	トロール	第 七 博 多 丸	博 多 ト ロ ー ル 殿 株 式 會 社	—	257.32	12.10.16
106	手繰網船	第 五 十 三 播 州 丸	林 兼 冷 藏 株 式 會 社 殿	—	50.00	14. 8.13
107	同	第 五 十 五 播 州 丸	同 殿	—	50.00	14. 8.13
†62	トロール	會 我 丸	會 我 一 郎 殿	—	247.00	9. 3.—
†66	同	第 一 丸	臺 灣 ト ロ ー ル 殿 株 式 會 社	—	313.00	9. 7.—
†67	同	第 一 玉 園 丸	長 崎 海 運 株 式 會 社 殿	—	313.00	9. 8.—
†68	同	第 五 明 治 丸	明 治 漁 業 株 式 會 社 殿	—	267.00	9. 9.—
†70	同	第 六 明 治 丸	同 殿	—	267.00	9.11.—
†71	同	第 二 玉 園 丸	長 崎 海 運 株 式 會 社 殿	—	316.00	9.10.—
†72	同	第 七 明 治 丸	明 治 漁 業 株 式 會 社 殿	—	267.00	9.11.—
†73	同	第 三 玉 園 丸	長 崎 海 運 株 式 會 社 殿	—	316.00	9.12.—
†69	同	第 三 鷺 丸	樺 太 漁 業 株 式 會 社 殿	—	267.00	10. 1.—
†84	同	高 砂 丸	日 本 ト ロ ー ル 殿 株 式 會 社	—	275.00	10.11.—
†85	同	安 宅 丸	同 殿	—	275.00	10.12.—
†87	同	第 八 明 治 丸	明 治 漁 業 株 式 會 社 殿	—	267.00	11.11.—
†88	同	第 十 一 明 治 丸	同 殿	—	297.00	11. 2.—

D. 漁 撈 船							
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重 量 噸 數	總 噸 數	進 水 年 月 日	
†92	同	三 洋 丸	北 海 道 廳 殿	—	217.00	大正年 月 日 11. 3.—	
†101	漁業指導船	紀 國 丸	和 歌 山 縣 殿	—	47.00	11. 6.—	
†103	巾着網漁船	第 七 德 壽 丸	高 橋 善 作 殿	—	71.00	11. 6.—	
†104	トロール	第 七 鸚 丸	樺太漁業株式會社殿	—	281.00	11. 8.—	
†105	同	第 八 鸚 丸	樺太漁業株式會社殿	—	256.00	11.10.—	
†106	同	烏 島 丸	長崎海運株式會社殿	—	51.00	11. 9.—	
†107	漁業指導船	照 洋 丸	鹿 兒 島 縣 殿	—	41.00	11.11.—	
†115	同	海 幸 丸	小 笠 原 島 廳 殿	—	61.00	12. 3.—	
†119	同	鵬 洋 丸	鹿兒島縣大島々廳殿	—	20.00	12.10.—	
†121	鰹釣漁船	大 島 丸	住 入 船 殿	—	70.00	13. 1.—	
†126	漁業指導船	白 鳥 丸	愛 知 縣 殿	—	50.00	12. 8.—	
†128	手繰網漁船	相 島 丸	樺太漁業株式會社殿	—	50.00	12.10.—	
†129	同	生 月 丸	同 殿	—	50.00	12.10.—	
†130	同	宇 久 島 丸	同 殿	—	50.00	12.11.—	
†131	同	繪 島 丸	同 殿	—	50.00	12.11.—	
†132	同	男 島 丸	同 殿	—	50.00	12.12.—	
†133	同	神 島 丸	同 殿	—	50.00	12.12.—	
†134	同	霧 島 丸	同 殿	—	50.00	13. 2.—	
†135	同	來 島 丸	同 殿	—	50.00	13. 2.—	
†136	同	玄 海 丸	同 殿	—	50.00	13. 4.—	
†137	同	小 島 丸	同 殿	—	100.00	13. 4.—	
†139	鰹釣漁船	日 吉 丸	日 吉 丸 組 合 殿	—	135.00	13. 2.—	
†140	同	寶 照 丸	寶 照 丸 組 合 殿	—	100.00	13. 3.—	
†141	鰹釣漁船	魁 運 丸	進 福 丸 組 合 殿	—	80.00	13. 2.—	
†146	同	第 三 河 岸 丸	燒 津 信 用 購 買 殿 利 用 組 合	—	60.00	13. 4.—	
†152	鰹鮪漁船	第 一 彌 榮 丸	大 洋 漁 業 株 式 會 社 殿	—	60.00	13. 2.—	
†153	同	第 二 彌 榮 丸	同 殿	—	100.00	13.12.—	
†154	鰹鮪漁船	第 二 清 海 丸	揚 村 靜 治 殿	—	60.00	14. 3.—	
†157	同	福 井 丸	福 井 縣 水 產 試 驗 場 殿	—	80.00	14. 5.—	
†164	鰹釣漁船	榮 龍 丸	長 濱 鐵 次 殿	—	40.00	14.12.—	
†165	漁業指導船	第 三 探 海 丸	北 海 道 水 產 試 驗 場 殿	—	10.00	14.11.—	
†168	鰹釣漁船	第 七 六 乃 志 滿 丸	竹 村 竹 彌 太 殿	—	80.00	15. 4.—	
†171	漁業指導船	高 鵬 丸	高 知 縣 水 產 試 驗 場 殿	—	80.00	15. 6.—	

D. 漁 撈 船							
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重 量 噸 數	總 噸 數	進 水 年 月 日	
†173	鯉釣漁船	太 洋 丸	石 原 圓 吉 殿	—	100.00	大正年 月 日 15. 9. 13	
†178	漁業指導船	神 威 丸	三重縣水産試験場殿	—	120.00	昭和年 月 日 2. 2. 13	
†179	漁業練習船	おしよろ丸	北海道帝國大學殿	—	472.00	2. 3. 15	
†180	鯉釣漁船	春 日 丸	南 郷 漁 業 組 合 殿	—	100.00	大正年 月 日 15. 1. 2	
193	漁業指導船	圖 南 丸	沖 繩 縣 殿	—		昭和年 月 日 2. 8. 14	
139	トロール船		日 本 ト ロ ー ル 株 式 會 社 殿		300.00		
E. 客 船							
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重 量 噸 數	噸 數 總	進 水 年 月 日	
99	客 貨 船	珠 丸	對島商船株式會社殿	964.34	795.58	大正年 月 日 13. 11. 13	
100	客 船	鳩 丸	朝鮮郵船株式會社殿	—	89.36	13. 12. 11	
101	同	隼 丸	同 殿	—	90.02	13. 12. 11	
104	同	京 阪 丸	湖南汽船株式會社殿	—	40.00	14. 5. 28	
105	客 貨 船	白 頭 山 丸	朝鮮郵船株式會社殿	3030.00	2091.81	14. 10. 7	
116	遊 覽 船	平 安 丸	湖南汽船株式會社殿	—	84.13	15. 3. 23	
123	客 貨 船	長 安 丸	大阪商船株式會社殿	2909.48	2611.89	15. 12. 18	
126	客 船	明 治 丸	湖南汽船株式會社殿	—	90.33	15. 9. 30	
127	同	大 正 丸	同 殿	—	90.33	15. 11. —	
128	同	桃 太 郎 丸	琵琶湖鐵道汽船株式會社殿	—	215.55	昭和年 月 日 2. 3. 13	
130	碎氷客船	亞 庭 丸	鐵 道 省 殿	—	3,200.00	2. 9. 23	
†102	客 貨 船	新 越 丸	小 林 龜 太 郎 殿	560.00	—	大正年 月 日 11. 7. 23	
†148	同	北 祐 丸	北陸汽船株式會社殿	2,000.00	—	13 9. —	
138	同	祥 保 丸	松 田 三 次 郎 殿	—	90.00	昭和年 月 日 2. 7. 22	
140	同	朝 霧 丸	播淡汽船株式會社殿	—	35.00		

F. デ イ ー ゼ ル 船

弊社はズルザー式ディーゼル機関製造販賣權を有するものにして之れを裝備し且つ製造したる船舶は下記の通りなり。

船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日
93	貨物船	復興丸	自家用	6.042.00	3.834.93	大正年 月 日 13. 9.20
111	同	彌彦丸	板谷商船株式會社殿	9108.96	5742.42	15. 7.27
123	客貨船	長安丸	大阪商船株式會社殿	2909.480	2611.89	15.12.18

G. 碎 氷 船

船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日
64	碎氷船	奉天丸	南滿洲鐵道株式會社殿	—	425.00	大正年 月 日 10 12 26
130	碎氷客船	亞庭丸	鐵道省殿	—	3.200.00	昭和年 月 日 2. 9.23

H. 冷 凍 船

船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日
	冷凍作業船	大東丸	改造工事施行殿	2.726	1229.37	大正年 月 日
F109	冷藏運搬船	第十八播州丸	林兼商店殿	—	127.00	12. 1.—
F110	同	第十九播州丸	同 殿	—	127.00	12. 1.—
F111	同	第廿一播州丸	同 殿	—	127.00	12. 2.—
F112	同	第廿二播州丸	同 殿	—	142.00	12. 4.—
F113	同	第廿三播州丸	同 殿	—	142.00	12. 4.—
F114	同	第廿五播州丸	同 殿	—	142.00	12. 5.—
F127	冷藏船	海龍丸	第一水産株式會社殿	—	578.00	12.11.—

Harima.

I. 救 助 船							
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日	
183	救 命 艇	か も め	帝國水難救濟會	—	—	大正年 月 日 10. 9. 一	
116	同	ち め り	同	—	—	12. 6. 一	
172	同	諏 訪 丸	同	—	—	15. 7. 一	
136	サルベージボート	祐 捷 丸	帝國サルーベン社	—	700.00	昭和年 月 日 2.10.30	

J. 雜 種 船							
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日	
65	曳 船	公稱第四五八號	吳 海 軍 工 廠	62.00	—	大正年 月 日 10.12.27	
66	炭 水 船	炭水船第一號	岡 山 縣 廳	—	—	10.10.14	
67	ラ ン チ	安 別 丸	陸軍運輸部	—	18.08	10.11.27	
68	同	名 好 丸	同	—	18.08	10.11.29	
71	曳 船	高 砂 丸	內務省神戶出張所	—	68.69	11. 3.22	
72	同	尾 上 丸	同	—	52.99	11. 3.22	
73	同	相 生 丸	同	—	68.69	11. 4.18	
74	同	會 根 丸	同	—	52.99	11. 4.18	
76	淺吃水船	淀 川 丸	陸軍運輸部	—	71.47	11. 5.15	
77	同	淺 川 丸	同	—	38.03	11. 5.15	
78	曳 船	公稱第四八七號	海 軍 省 經 理 局	—	300.00	11. 4. 5	
79	同	公稱第四八八號	同	—	300.00	11. 4. 7	
80	積 水 船	公稱第二四一七號	同	—	—	11. 2.25	
81	ラ ン チ	金 輪 丸	陸 軍 運 輸 部	—	15.37	11. 6. 5	
82	同	字 品 丸	陸 軍 運 輸 部	—	15.37	11. 6. 5	
86		白 山 丸	陸 軍 省	—	91.84	12. 1.31	
89	水 船	甲第二六號水船	同	300.00	174.34	13. 5. 5	
90	同	甲第二七號水船	同	300.00	174.34	13. 5. 5	
94	舩 船	上第二〇一號	上 組 合 資 會 社	—	150噸積	13. 3.25	
95	同	同第二〇二號	同	—	150噸積	13. 3.25	
96	同	同第二〇三號	同	—	150噸積	13. 3.25	
97	同	同第二〇四號	同	—	150噸積	13. 4.18	

J. 雜 種 船						
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重量噸數	總 噸 數	進水年月日
98	同	甲第二〇五號	上組合資會社殿	—	150噸積	大正年 月 日 13. 4.18
102	曳船兼 交通船	公稱第五九二號	佐世保海軍工廠殿	—	100.00	14. 1.30
103	傳馬船		吳海軍工廠殿	—	—	14. 5. 2
110	モ一タ一 ボ一ト	晴 嵐	湖南汽船株式會社殿	—	—	14. 7. 3
112	水 船	甲第二十八號水船	陸軍運輸部殿	—	201.22	15. 3.15
113	曳 船	千 田 丸	同 殿	—	19.13	15. 3.19
114	同	大 河 丸	同 殿	—	19.13	15. 3.20
115	同	三 篠 丸	同 殿	—	19.08	15. 3.22
117	モ一タ一 ボ一ト	夕 照 丸	湖南汽船株式會社殿	—	—	15. 1.30
118	同	勢 田 丸	同 殿	—	—	15. 2. 5
119	曳 船	網 之 浦 丸	自 家 用殿	—	60.53	15. 9.20
120	傳馬船	公稱第二六二〇號	吳海軍工廠殿	排水噸數 35.00	—	
125	モ一タ一 ボ一ト	秋 月 丸	湖南汽船株式會社殿	150.00	—	
129	曳船兼 交通船	公稱第六七六號	佐世保海軍工廠殿	150.00	—	昭和年 月 日 2. 2.25
131	同	公稱第六六七號	吳海軍工廠殿	150.00	—	2. 3.15
132	同	公稱第六六八號	同 殿	—	—	2. 3.28
†125	艇		武周電力株式會社殿	—	—	大正年 月 日 12. 7.—
†177	檢疫船	草 薙 丸	愛 知 縣殿	—	19.50	15. 8.—
† 81	曳 船		橫須賀海軍工廠殿	—	150.50	10. 6.—
† 94	曳船兼 交通船	公稱第五〇一號	吳海軍工廠殿	—	20.00	11. 4.—
† 95	同	公稱第四九九號	橫須賀海軍工廠殿	—	20.00	11. 4.—
† 96	同	公稱第四九八號	舞鶴海軍工廠殿	—	20.00	11. 4.—
† 97	同	公稱第五〇〇號	同 殿	—	20.00	11. 4.—
† 98	同	公稱第五〇二號	吳海軍工廠殿	—	20.00	11. 5.—
† 99	同	公稱第五〇三號	舞鶴海軍工廠殿	—	20.00	11. 5.—
†100	同	公稱第五〇四號	佐世保海軍工廠殿	—	20.00	11. 5.—
† 82	曳 船	旭 川 丸	岡 山 縣殿	—	150.00	10. 9.—
†147	同	瑞 潮 丸	內 務 省殿 橫濱土木出張所	90.00	—	13. 6.—
†149	ラ ン チ	さ く ら	大 藏 省殿	—	20.00	13.10.—
†150	同	や な ぎ	同 殿	—	20.00	13.10.—
†155	曳 船	第 五 飛 電 丸	大 阪 府殿	—	40.00	14. 3.—
†166	貨物船	帝 國 丸	齊 藤 貞 太 郎殿	—	94.00	15. 2.—
†167	巡邏船	愛 知 丸	名古屋水上警察署殿	—	65.00	13. 8.—

Harima

J. 雜 種 船							
船 番	船 種	船 名	註 文 主	重 量 噸 數	總 噸 數	進 水 年 月 日	
K. 浚 渫 船 及 土 運 船							
船 番	船 種	船 名	註 文 主	浚 渫 能 力	總 噸 數	進 水 年 月 日	
84	鋤 鏈 式	さ む か ぜ	秋 田 縣 殿	一時間立坪 20—	—	大正年	月 日 11. 6.28
85	同	浦 島 丸	沖 繩 縣 殿	25—	—	11.	9.20
109	同	錦 江 號	内 務 省 殿 下 關 土 木 出 張 所	20—	—	14.10.	7
	唧 筒 式	仁 王 丸	愛 知 縣 殿	—	—	10.	3.—
†75	鋤 鏈 式	千 熊 丸	同 殿	20—	—	10.	3.—
†79	同	日 吉 丸	同 殿	50—	—	10.	7.—
†108	同	孫 六 丸	同 殿	40—	—	12.	1.—
†120	唧 筒 式	武 藏 丸	東 京 市 殿	25—	—	12.	8.—
†138	鋤 鏈 式	南 樺 丸	樺 太 真 岡 縣 港 殿	20—	—	13.	4.—
†145	唧 筒 式	多 摩 號	内 務 省 殿 東 京 土 木 出 張 所	25—	—	13.	5.—
†151	搔 揚 式	鹿 島	東 京 市 殿	30—	—	13.11.	
†170	唧 筒 式	出 雲	内 務 省 殿 大 阪 土 木 出 張 所	20—	—	15.	8.
†187	搔 揚 式	北 見 號	北 海 道 廳 殿	—	—	昭和年	月 日 2. 4.—
†117	起 重 機 船	—	内 務 省 殿 横 濱 土 木 出 張 所	20—	—	大正年	月 日 12. 5.
†142	同	—	同 殿	20—	—	12.12.	
†143	同	—	同 殿	20—	—	13.	1.
†163	杭 打 機 船	—	復 興 局 殿	—	—	14.	9.
†169	起 重 機 船	—	内 務 省 殿 名 古 屋 土 木 出 張 所	25—	—	15.	6.
†76	底 土 開 運 式 船	太 郎 丸	愛 知 縣 殿	25—	—	10.	4.
†77	同	太 次 郎 丸	同 殿	25—	—	10.	5.
†78	同	三 郎 丸	同 殿	30—	—	10.	7.
†89	土 運 船	—	同 殿	30—	—	11.	1.
†90	同	—	同 殿	30—	—	11.	1.
†91	同	—	同 殿	10—	—	11.	1.
†156	同	—	同 殿	10—	—	14.	4.

K. 浚渫船及土運船						
船番	船種	船名	注文主	重量噸數	總噸數	進水年月日
†159	同	—	大阪府殿	10— <small>—時間立昇</small>	—	大正年 月 日 14. 6.
†160	側開式 土運船	—	内務省殿 東京土木出張所	10—	—	14. 7.
†161	同	—	同殿	10—	—	14. 7.
†162	同	—	同殿	10—	—	14. 7.
†174	土運船	—	内務省殿 名古屋土木出張所	10—	—	15. 7.
†175	同	—	同殿	10—	—	15. 7.
†176	同	—	同殿	10—	—	15. 7.
†189	同	—	銚子漁港殿 修繕事務所	20—	—	昭和年 月 日 2. 5.
†190	同	—	同殿	20—	—	2. 5.
	鋤鏈式 土運船	第一岡山號	岡山縣殿	20—	—	大正年 月 日 10.10.15
	同	—	同殿	10—	—	10.10.15
	同	—	同殿	10—	—	10.10.15
	同	—	同殿	10—	—	10.10.15
	同	—	同殿	10—	—	10.10.15
	鋤鏈式 ブリマ同	淡海丸	滋賀縣殿	80—	—	10.12.10
194		香川丸	香川縣殿	DD型	—	昭和年 月 日 2. 9.29
195		小第一號浚渫船	内務省殿 神戸土木出張所	DD型	—	2. 9.30

以上船舶製造船番數字に(†印)記號の分は鳥羽工場にて建造したるものを表示す。

2、修繕船

修繕船に至りては開業以來最近迄に入渠したるもの約壹千餘艘此延總噸數貳百有餘萬噸に達せり。

3、各種起重機

A. 梁上電動起重機之部						
注文先	能力	梁間	摘要	製造年月	臺數	
鳥羽電機製作所	15噸	43 <small>限</small>	A. C.	大正年 月 日 12. 9	1	臺
大阪窯業株式會社殿	3	27	クラブバケツクレン	12.10	1	臺
吳海軍工廠殿	15 5	40	D. C.	12.11	1	臺
神戸製鋼所	5	クラブ	A. C.	12.12	1	臺
大同電力株式會社殿	45 10	26	A. C.	13. 6	1	臺

註文主	能力	梁間	摘要	製造年月	臺數
鐵道省殿	15 ^噸 3	56 ^呎	A. C.	大正 ^年 月 13. 9	1 臺
鐵道省殿	3	48	A. C.	13. 9	1 臺
鐵道省殿	5	56	A. C.	14. 2	1 臺
大同電力株式會社殿	80 15	40	A. C.	14. 6	1 臺
神戶製鋼所	15 3	45	D. C.	14. 6	1 臺
橫須賀海軍工廠殿	3	30	D. C.	14. 7	1 臺
日本電力株式會社殿	35	58	A. C.	14.10	1 臺
大阪製鐵株式會社殿	2.5	46	チャージングクレーン	13. 8	1 臺
札幌送電株式會社殿	25	45	A. C.	14.10	1 臺
吳海軍々需部殿	15	20	A. C.	14. 2	1 臺
神戶製鋼所	5	60	D. C.	14.12	1 臺
長野電燈株式會社殿	25 5	27	A. C.	14.12	1 臺
長野電燈株式會社殿	15 3	39	A. C.	14. 3	1 臺
大同電力株式會社殿	40	21	A. C.	15. 2	1 臺
釜石鑛山株式會社殿	2.5	45	チャージングクレーン	15.12	1 臺
神戶製鋼所	15 3	37	D. C.	15. 5	1 臺
帝國人造絹絲株式會社殿	10	41	A. C.	15. 1	1 臺
日本エヤーブレーキ會社殿	3	47	A. C.	15. 6	1 臺
廣島電氣株式會社殿	70 15	33	A. C.	15. 7	1 臺
神戶製鋼所	10 3	60	D. C.	15. 7	1 臺
臺灣鐵道局殿	25 5	43	A. C.	15. 7	1 臺
製鐵所殿	3	63	インゴットクレーン	15. 8	1 臺
神戶製鋼所	15 5	45	D. C.	15. 8	1 臺
神戶製鋼所	5	60	D. C.	15. 8	1 臺
橫須賀海軍々需部殿	3	18	A. C.	15. 8	2 臺
天龍川電力株式會社殿	20	30	A. C.	15.12	1 臺
釜石鑛山株式會社殿	40 10	40	レードルクレーン	15.12	1 臺
土佐セメント株式會社殿	3	33	グラブバケットクレーン	15. 2	1 臺
三菱造船株式會社殿	5	クラブ	A. C.	昭和 ^年 月 2. 1	1 臺

B. 梁上起手働重機之部						
註文先	能	力	梁	間	製造年月	臺數
南滿鐵道株式會社殿	噸	3	限	21	大正 年 月 13.11	1 臺
長野電燈株式會社殿		10		30	14. 4	1 臺
穴吹川水電株式會社殿		5		36	14. 5	1 臺
日本セメント株式會社殿		15		43	14. 8	1 臺
東邦電力株式會社殿		25		27	15. 3	1 臺
長野電燈株式會社殿		15		28	15. 3	1 臺
敦賀電燈株式會社殿		3		38	15. 5	1 臺
立山水力電氣株式會社殿		15		28	15. 5	1 臺
信美電力株式會社殿		12		17	15. 5	1 臺
水窪川水力電氣株式會社殿		20		28	15.10	1 臺
海軍霞ヶ浦技術研究所殿		5		48	昭和 年 月 2. 1	1 臺
鐵道省 殿		13		21	2. 4	1 臺
土佐セメント株式會社殿		15		27	2. 5	1 臺

C. 片臂起重機之部						
註文主	名	稱	要	額	製造年月	臺數
日本電力株式會社殿	5噸	ガイデリツク、クレーン	半徑	限 70	大正 年 月 12. 7	1 臺
吳海軍工廠殿	5噸	スチームロコモチブ、クレーン	高	90	13. 3	2 臺
吳海軍工廠殿	5噸	スチームロコモチブ、クレーン	半徑	16	13. 7	1 臺
佐世保海軍工廠殿	10噸	スチームロコモチブ、クレーン	半徑	25	14. 1	1 臺
鐵道省 殿	3噸、5噸	スチームロコモチブ、クレーン	半徑	20	13. 1	2 臺
鳥羽造船所	2噸、5噸	スチームロコモチブ、クレーン	半徑	27	13. 5	2 臺
播磨造船工場	1.2噸	電氣ロコモチブ、クレーン	半徑	40	13. 7	1 臺
大同電氣製鋼所殿	1.5噸	電氣ロコモチブ、クレーン	半徑	20	14.10	1 臺
名古屋倉庫株式會社殿	1.5噸	電氣ロコモチブ、クレーン	半徑	25	15. 1	1 臺
名古屋倉庫株式會社殿	1噸	電氣ロコモチブ、クレーン	半徑	42	15. 4	1 臺
神戶製鋼所	1噸	デリツククレーン	半徑	16	12. 2	1 臺
鐵道省 殿	3噸	門型埠頭起重機	半徑	40	13. 6 15. 6	2 臺
吳海軍工廠殿	3噸	手働軌道移動起重機	半徑	12	13.10	3 臺
吳海軍工廠殿	3噸	手働軌道移動起重機	半徑	14	13.12	1 臺

註文主	名稱	要領	製造年月	臺數
茨城縣廳殿	3噸蒸氣無限軌道起重機	半徑 18	昭和 年 月 2. 5	1 臺
鳥羽造船工場	3噸電気ロコモチブクレーン	半徑 9	大正 年 月 13. 8	1 臺
日本セメント株式會社殿	2.5噸固定式埠頭起重機	半徑 20	15. 2	3 臺
神戸製鋼所	5噸ラヂアルウオルクレーン	半徑 25	15. 5	1 臺
神戸製鋼所	3噸ラヂアルウオルクレーン	半徑 25	15. 5	1 臺

D. 運炭装置之部

註文主	名稱	要領	製造年月	臺數
三重合同電気株式會社殿	コンチニアスバケツトアンローダー	1時間 30噸	大正 年 月 15. 10	1 臺
三重合同電気株式會社殿	トラベリングトランスポーター	軌道間 57呎 ベルト幅 18吋	15. 10	1 臺
三重合同電気株式會社殿	ドラグスレーパー	1時間 50噸	15. 10	1 臺
土佐セメント株式會社殿	グラブバケツトアンローダー	1時間 100噸	15. 12	1 臺
土佐セメント株式會社殿	インクラインドベルトコンベヤ	長 100呎 ベルト幅 24吋	15. 12	1 臺
土佐セメント株式會社殿	100噸ベルトコンベヤ	長 200呎 ベルト幅 24吋	15. 12	1 連
土佐セメント株式會社殿	グラブバケツト運炭起重機	1時間 30噸	15. 12	1 連
廣島電気株式會社殿	グラバケツトアンローダー	1時間 50噸	昭和 年 月 2. 3	1 臺
廣島電気株式會社殿	インクラインドベルトコンベヤ	長 150呎 ベルト幅 24吋	2. 3	1 連
廣島電気株式會社殿	ビボツテツトバケツトキャリヤ	1時間 50噸	2. 3	1 連
海軍省建築局殿	トラベリングトランスポーター	軌道間 100呎 グラブ 5噸	2. 8	1 臺

E. 單梁ホイスト之部

註文主	荷重	種類	製造年月	臺數
吳海軍工廠殿	噸 10	懸 型	大正 年 月 13. 9	1 臺
横須賀海軍々需部殿	1	電 氣 走 行 型	15. 8	2 臺
仙臺鐵道局殿	2	電 氣 走 行 型	昭和 年 月 2. 1	3 臺
釜石鑛山株式會社殿	2	電 氣 走 行 型	2. 3	1 臺

註文主	荷重	種類	製造年月	臺數
鐵道局殿	2	電氣走行型	昭和2.1	1 臺
鐵道局殿	5	電氣走行型	2.2	1 臺
名古屋鐵道局殿	2	ローハツト手働走行型	2.1	1 臺
東京鐵道局殿	1	懸型	2.3	1 臺
東京鐵道局殿	3	電氣走行型	2.4	1 臺

4、水 壓 鐵 管 類

名 稱	數 量	御 註 文 主
水 壓 鐵 管	1 廉	島根縣頓原村電氣事務所殿
第二線水路鐵管工事(直徑六呎)	1 切	信越電氣株式會社殿
水壓鐵管製作及据付工事	1 切	信越電氣株式會社殿
サクシヨンパイプ	1 廉	鈴木商店京城支店殿
水電用導水鐵管据付工事	1 切	德島縣水力電氣株式會社殿
羽出水壓鐵管製作据付工事	1 切	中國合同電氣株式會社殿
水 壓 鐵 管	1 式	中國合同電氣株式會社殿(羽出村)
鐵 管 1.150呎	2 條	鬼怒川水力電氣株式會社殿
水 壓 鐵 管	1.300 呎	大白川電力株式會社殿
餘 水 管	1.600 呎	大白川電力株式會社殿
排 泥 管	150 本	內務省東京土木出張所殿
掃 除 用 空 氣 管	3 箇	海軍省經理局殿

5、油 槽 及 瓦 斯 槽

名 稱	數 量	御 註 文 主
重油槽製作組立工事(8,000噸)	10 個	吳海軍工廠殿
重油槽製作組立工事(6,000噸)	10 個	吳海軍工廠殿

名	稱	數	量	御	註	文	主																			
原	液	「タ	ン	ク」	106	個	帝國人造絹糸株式會社殿																			
石	油	槽	4	基	ライ	ジ	ン	グ	サ	ン	石	油	株	式	會	社	殿									
タ	ン	ク	(4.000噸)	4	個	ライ	ジ	ン	グ	サ	ン	石	油	株	式	會	社	殿								
貳	拾	萬	立	方	呎	瓦	斯	溜	建	設	1	基	姫	路	瓦	斯	株	式	會	社	殿					
油	槽	1	基	清	水	製	油	株	式	會	社	殿														
百	噸	重	油	タン	ク	ー	基	製	作	据	付	工	事	1	基	霞	ヶ	浦	海	軍	技	術	研	究	所	殿
貳	拾	立	方	米	瓦	斯	槽	1	基	霞	ヶ	浦	海	軍	技	術	研	究	所	殿						
瓦	斯	槽	1	基	明	石	瓦	斯	株	式	會	社	殿													

6、橋梁及橋桁鐵工事

名	稱	數	量	御	註	文	主															
橋	梁	バ	ツ	ク	ル	ブ	レ	イ	ト	1	式	朝	鮮	總	督	府	殿					
大	野	川	白	瀧	橋	架	設	工	事	1	切	大	分	縣	廳	殿						
鋼	製	橋	梁	架	設	工	事	1	切	岡	山	縣	片	上	鐵	道	株	式	會	社	殿	
祇	園	橋	架	設	工	事	1	切	兵	庫	縣	龍	野	町	殿							
藤	戶	橋	及	軒	戶	橋	架	設	工	事	1	切	岡	山	縣	廳	殿					
加	茂	橋	々	梁	架	設	工	事	1	切	岡	山	縣	廳	殿							
戎	橋	架	設	工	事	1	切	山	口	縣	廳	殿										
德	島	縣	穴	吹	橋	架	設	工	事	1	切	三	戶	岡	組	殿						
高	知	縣	仁	淀	川	橋	々	架	設	工	事	1	切	中	西	龜	次	郎	殿			
橋	桁	補	強	材	數	種	南	朝	鮮	鐵	道	株	式	會	社	殿						
橋	桁	5	連	江	若	鐵	道	株	式	會	社	殿										
橋	桁	800	噸	高	知	縣	廳	殿														
高	知	縣	田	野	々	橋	鐵	骨	製	作	現	場	架	橋	工	事	1	切	逢	澤	寬	殿
上	莊	橋	々	骨	製	作	工	事	5	連	兵	庫	縣	廳	殿							
那	賀	川	橋	梁	上	部	鐵	骨	工	事	1	連	德	島	縣	廳	殿					
德	島	縣	鯛	之	濱	橋	々	梁	工	事	1	切	德	島	縣	守	住	官	平	殿		

7、セメント機械

註	文	主	名	稱	要	領	臺	數
	磐城	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.150	7.925	2	臺
	秩父	セメント株式會社	ロータリードライヤー		2.440	18.290	1	臺
	日本	セメント株式會社	クレイドライヤー				2	臺
	日本	セメント株式會社	クリンカークーラー				2	臺
	日本	セメント株式會社	クレイドライヤー				1	臺
	日本	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		1.830	5.490	1	臺
	日本	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.150	7.925	2	臺
	秩父	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		1.800	6.100	1	臺
	日本	セメント株式會社	ロータリーキルン		3.050	50.000	1	臺
	宇部	セメント株式會社	燒塊冷却機		7	60	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.150	7.315	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.150	7.925	2	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.400	7.925	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.150	7.315	2	臺
	土佐	セメント株式會社	ロータリークーラー		2.135	18.290	2	臺
	土佐	セメント株式會社	コムバインドチューブミル				3	臺
	土佐	セメント株式會社	復式石炭乾燥機		2.030	15.610	1	臺
	土佐	セメント株式會社	ロータリーキルン		2.740	61.000	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		1.400	7.000	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.000	9.000	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		1.680	7.620	1	臺
	小野田	セメント株式會社	グリースミル		2.400	4.200	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		1.980	6.100	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.150	12.000	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.400	9.000	1	臺
	小野田	セメント株式會社	コムバインドチューブミル		2.150	7.925	1	臺

8、重油燃焼装置

「ダール」式重油燃焼装置は吾社の特許を有するものにして重油専焼なり装備したる船舶及場所左の如し。

大阪商船株式会社殿	め な き 丸
米 國 船 舶 局 殿	い - す た ん そ る じ や 號
旭 石 油 株 式 會 社 殿	橘 丸
旭 石 油 株 式 會 社 殿	滿 珠 丸
旭 石 油 株 式 會 社 殿	干 珠 丸
大 日 本 鹽 業 株 式 會 社 殿	せ い ぬ 丸
大 日 本 鹽 業 株 式 會 社 殿	い - ぶ る 丸
辰 馬 汽 船 株 式 會 社 殿	織 殿 丸
山 下 汽 船 株 式 會 社 殿	曉 光 丸
國 際 汽 船 株 式 會 社 殿	ね - ぶ る 丸
林 兼 商 店 殿	第 十 七 播 州 丸
滿 鐵 水 産 試 験 場 殿	汽 罐
三 菱 造 船 所 彦 島 工 場 殿	納 入 壹 基

9、キツチエンスラダー

嶄新なる學理と經濟的見地に基き創案せられたる本操舵機は諸種の特長を有するも特に「推進器は常に前進回轉の状態にて差支へなき事」「全速力より直ちに停止する事」「急角度廻轉可能なる事」「高速度船舶に適當なる事」等は最大なるものにして弊社は此れが東洋に於ける製造販賣權を有す。

10、雜 工 事

名	稱	組 數	註 文 主
汎 水 蓋 冠	一 式	44 個	内 務 省 殿
漂 白 機 其 他	一 式	4 臺	帝 國 人 造 絹 糸 株 式 會 社 殿

名	稱	組 數	註 文 主
「リゼネレーター」		1式	クロード窒素工業會社殿
鋼製型枠		1組	内務省殿
鋼製電柱		44組	阪神急行電鐵株式會社殿
「ランカツシャープイラー」		1基	京都瓦斯株式會社殿
霞ヶ浦航空船格納移動足場及起重檣		各2臺	海軍經理局殿
船用汽罐		1基	若松築港株式會社殿
鋼製電柱		33組	岡山中國電氣株式會社殿

11、救 助 作 業

弊社は海難船救助の目的を以て救助作業船壹隻を常備せり乞ふ幸に御利用あらん事を。

12、南 洋 木 材 販 賣

南洋材販賣南洋ボルネオの原産地に南洋林伐採の権利を有する弊社は船用材として勿論傍らその優良の質を廣く世間に頒たんが爲めに廉價を以て販賣せり汽車、電車、洋家具、床板、枕木、腰板、船用等用途頗る廣汎なり種別下の如し。

ボルネオチーク材 コーワ材 ランボン材 フリタン材
 パロー材 バヒ材 トンプドウ材

13、其 他

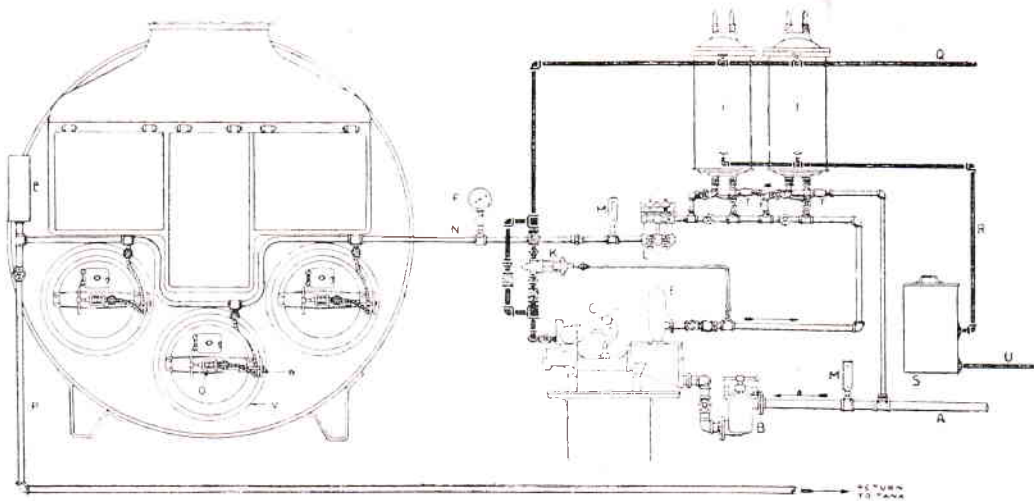
以上項目の外船舶に關する諸般の工事の製作に従事するもその重なるものを舉ぐれば下の如し。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 機 關 及 汽 罐 の 製 作 | 2. 鐵 塔 工 事 |
| 3. 木 造 船 の 製 造 | 4. 南 洋 材 製 品 |
| 5. 亞 鉛 鍍 工 事 | 6. ジ ャ ス 電 氣 熔 接 工 事 |

下關市林業商店殿所有船第六百第七及第七拾州丸並に岡崎汽船株式會社殿所有船日祥丸等既成船に對し中間切斷作業に多大なる經驗を有す又就中日祥丸工事の如きは延長四拾呎に及び作業の簡捷成績の佳良なる點に於て弊社の獨得技能として造船界に一新異彩を示したるは弊社の光榮とする所なり。

尚ほ織殿丸、曉光丸、ネブル丸等在來石炭專燒汽船に對し弊社の所有する專賣特許ダール式重油燃焼裝置を新設し重油專燒式汽船に改造したる幾多の經驗は亦弊社の特有する長所とす。

其他ディーゼル機關、冷蔵機、鑄鋼、鍛鋼、特殊材、錨類等特に造船事業に要する諸機器悉く神戸本社にて自給自足のため材質精撰納期の適確なる點は弊社の特徴にして私に誇りとする所なり。



THE BETHLEHEM (DAHL) MECHANICAL OIL BURNING SYSTEM AS INSTALLED ON A SCOTH BOILER, SHOWING ARRANGEMENT OF PUMPS, STRAINERS, HEATERS AND ACCESSORIER

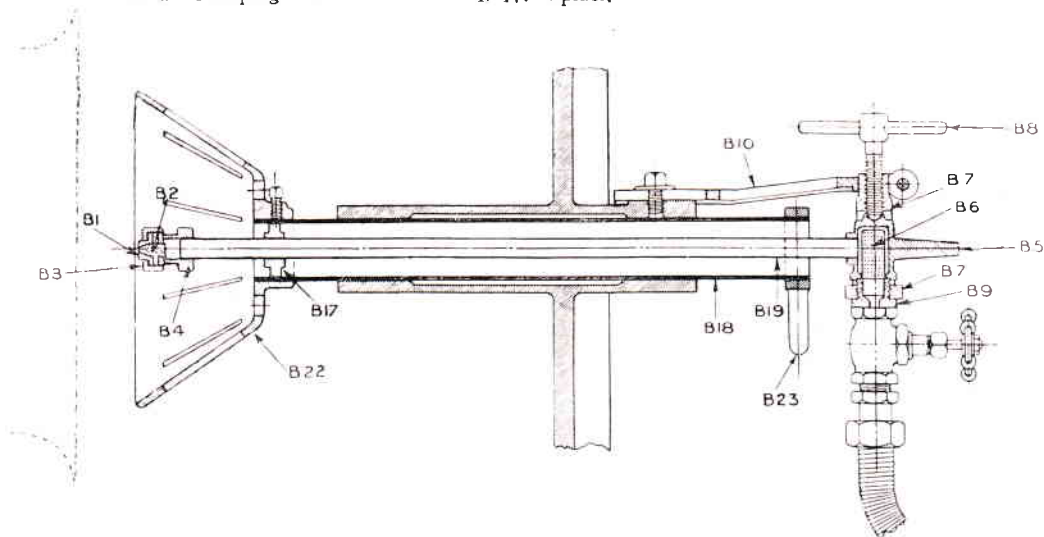
- | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| A. Suction from oil | L. Duplex discharge oil strainer | S. Observation tank |
| B. Duplex suction oil strainer | M. Thermometer | T. Relief valve on heater coils |
| C. Oil pump | N. Discharge Iron to burner | U. Drain line to boiler feed tank |
| F. Air chamber | O. Mechanical burner | V. Forced or natural draft front |
| F. Pressure gauge | P. Return line to oil pump suction | W. Air control valve |
| I. Oil heater | Q. Steam line | |
| K. Pump governor | R. Drain from heater | |

Steam lines are indicated by Solid Black.

Oil lines indicated by Orange.

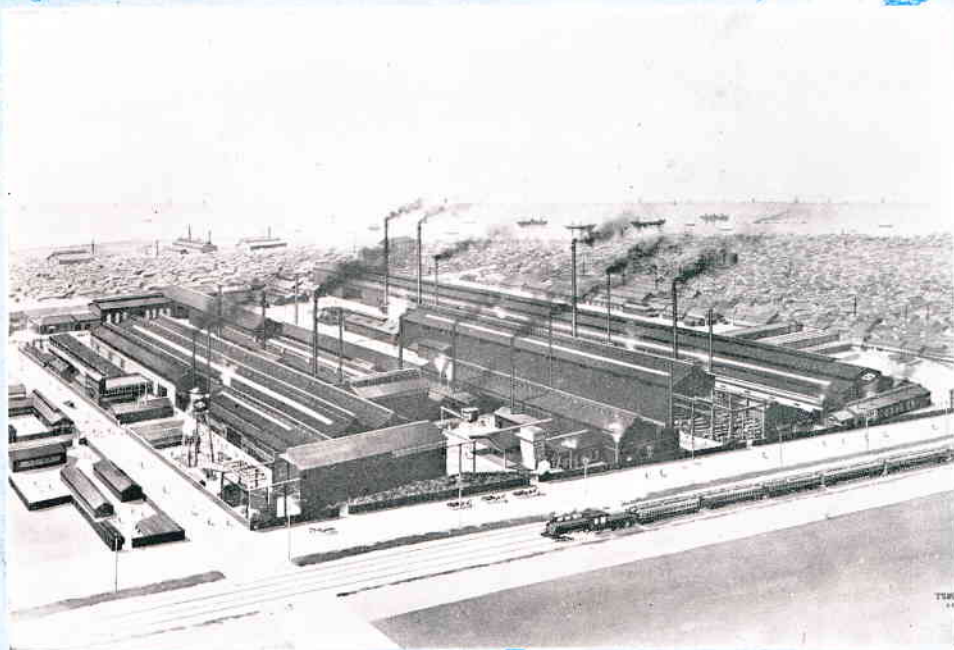
SPARE OIL BURNER PARTS FOR ORIGINAL (STEEL PLATE) AND HOWDEN TYPE FURNACE FRONTS

- | | |
|-------------------|---|
| B 1. Tip | B 5. Strainer Sleeve |
| B 2. Atomizer | B 6. Strainer |
| B 3. Atomizer Nut | B 15. 1/2-inch Burner Pipe Length 21 1/2 inches |
| B 4. Clamping Nut | B 17. Spider. |



SECTIONAL VIEW, SHOWING ASSEMBLY OF BURNER PARTS THE PATH OF OIL IN FLOWING THROUGH.

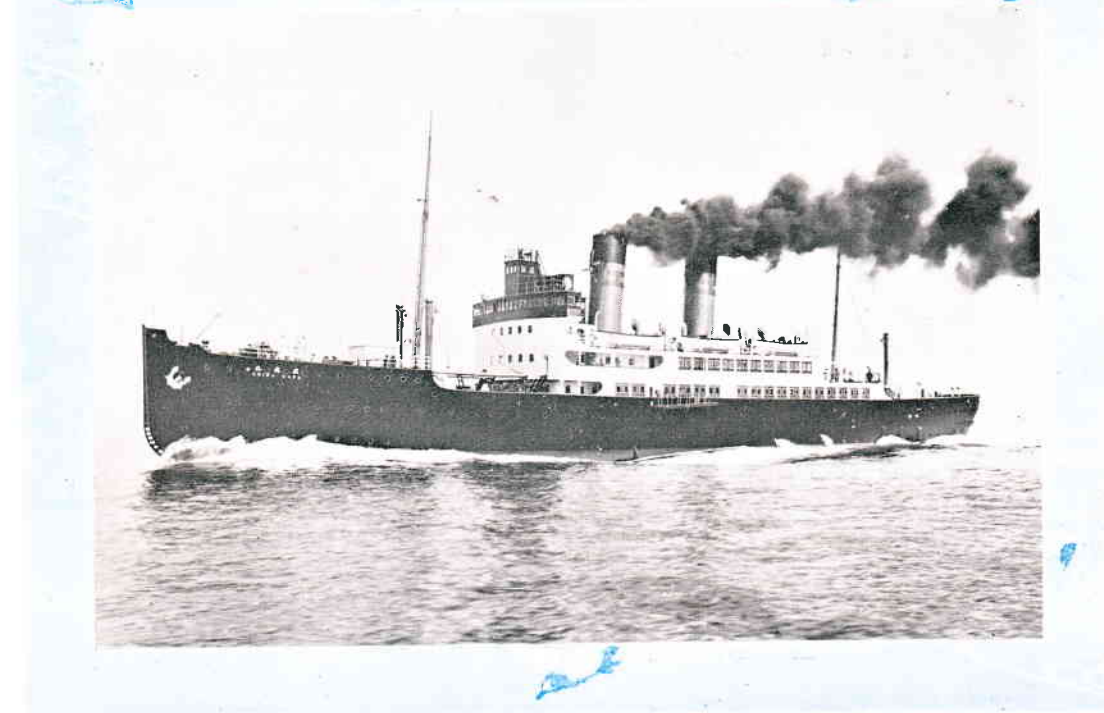
Harima



(上) 播磨造船工場遠景

(下) 神戸製鋼所本社全景

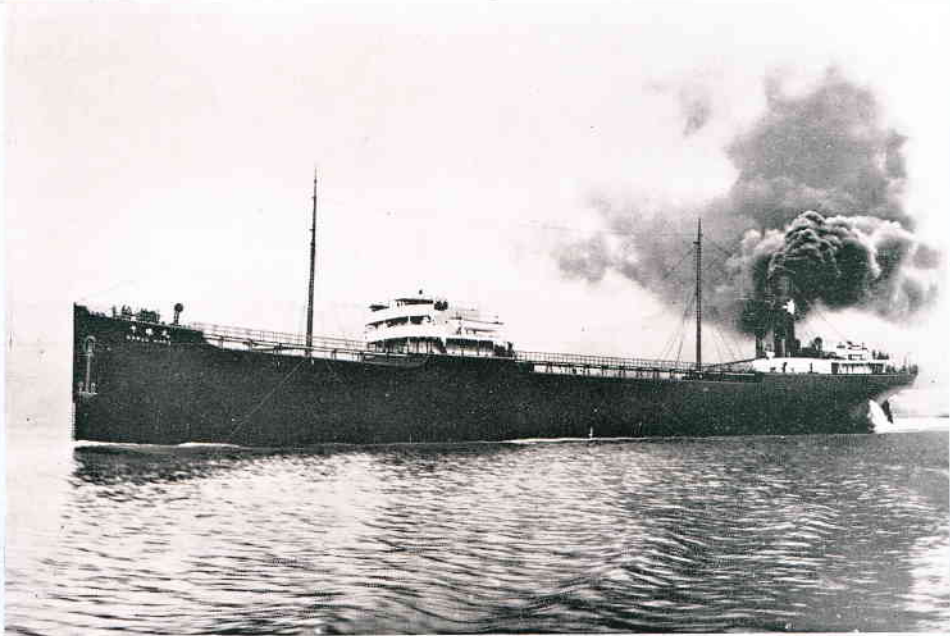
Harima



(上) 貝島商業株式會社
第三筑紫丸 (重量噸數1550噸)

(下) 鐵道省稚泊連絡船
碎冰客船 亞庭丸 (總噸數3200噸)

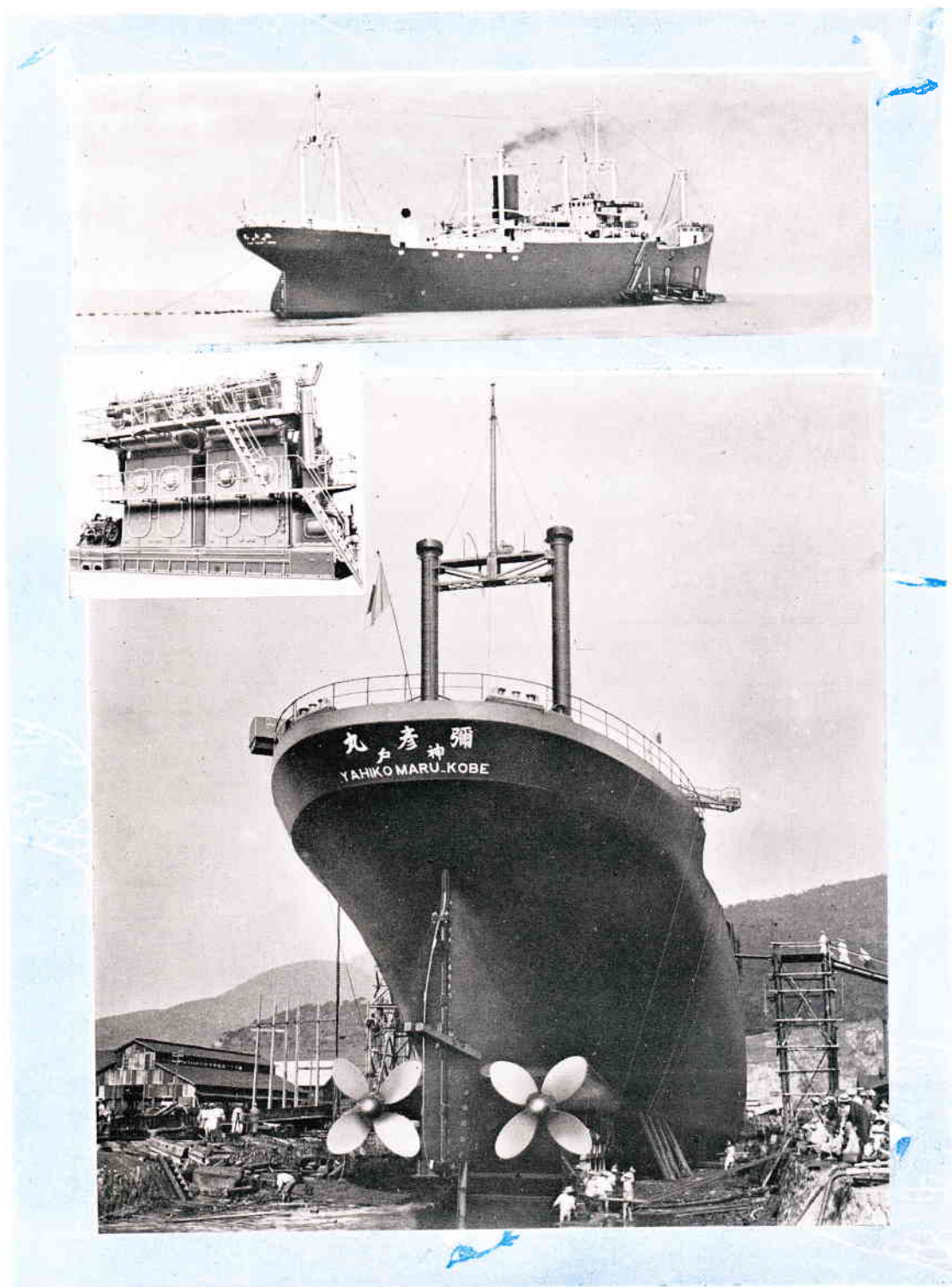
Harima



(上) 旭石油株式會社 油槽船
千珠丸 (重量噸數8763.79噸)

(下) 沖繩縣漁業指導船
圖南丸

Harima.



(上) 板谷商船株式会社
ディーゼル船 彌彦丸
(重量噸數 9,108.96噸)

(中) 2250馬力ブルツアー式
二衝程ディーゼル機関

(下) 進水臺上ノ彌彦丸

Harima.

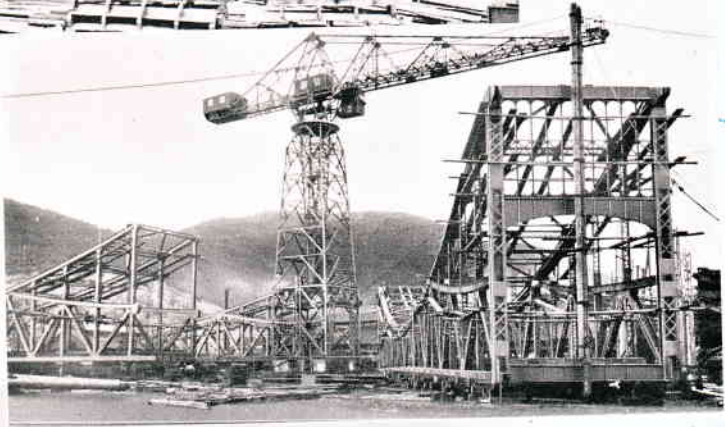
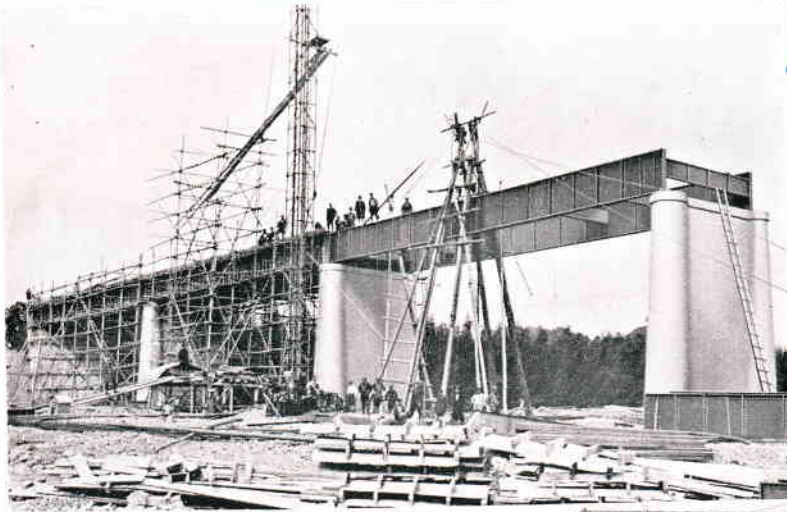


(上) 太湖汽船株式會社
桃 太 耶 丸

(中) 大阪商船株式會社
長安丸船室ノ一部

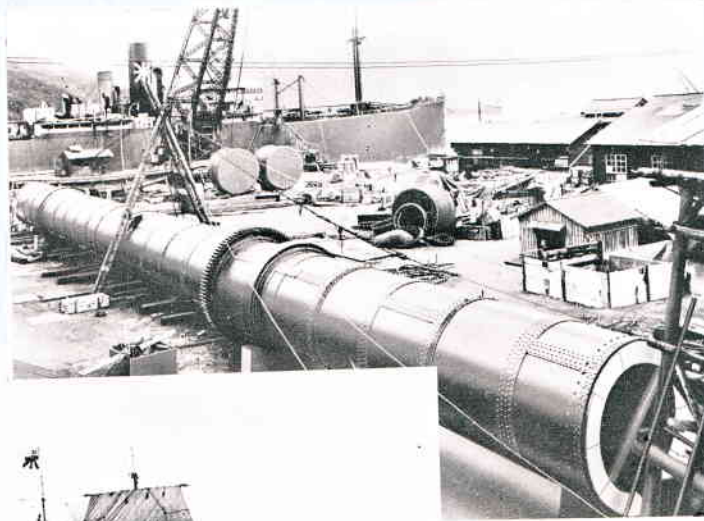
(下) 大阪商船株式會社
長 安 丸
(重量噸數 2909.48噸)

Harima.

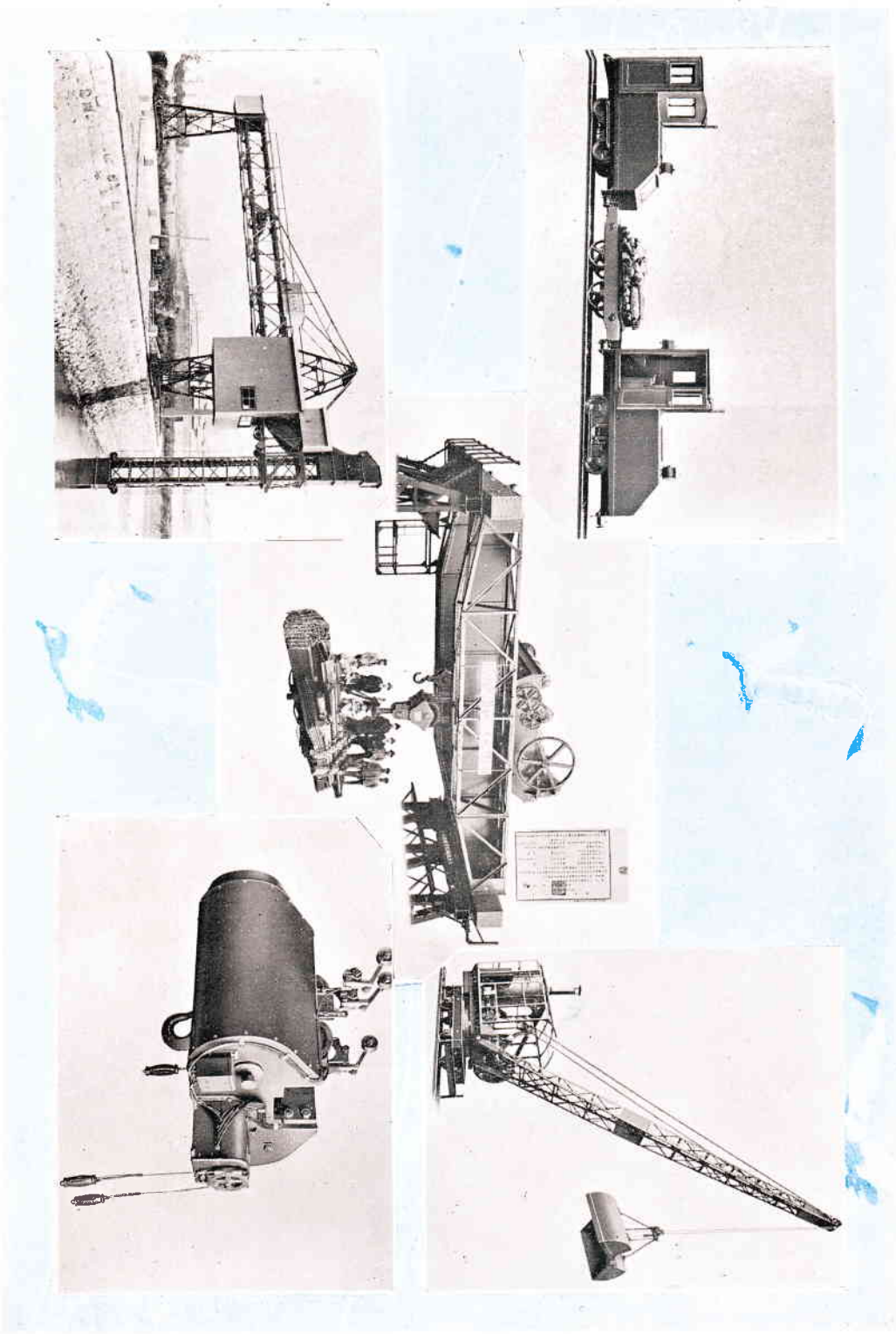


(上) 大 分 縣 (中) 德 島 縣 (下) 德 山 海 軍 燃 料 廠
大 野 川 白 瀧 橋 々 梁 穴 吹 橋 々 梁 8,000 噸 重 油 槽
架 設 工 事

Harima



(上) セメント機械用 (中) 北海道帝國大學 (下) キツチマンスラダー
コンバインド 練習船 おしよる丸 (左) 開 舵 (全速前進)
チューブミル (右) 閉 舵 (全速後進)



(上左) 東邦電力株式会社
 2噸(灰運搬用)電氣纜車
 (下左) 三重縣合同電氣株式会社
 30 噸 運 炭 裝 置

(中) 大同電力株式会社
 80 噸 梁 上 走 行 電 動 起 重 機

(上右) 鐵道省御注交
 3 噸 クラケット附スチーム
 ロコモティブイナクレーン
 (下右) 鐵道省御注交
 2 噸 ローベットモーターホイスト

PRINTED BY OKABE PRINTING OFFICE, KOBE.